

スーパーポチ横引き工法

スーパーポチ横引き工法とは

- スーパーポチはクレーンが近づけない現場用に開発された横引き工法です。
- 基礎コンクリート上に4台のチルローラーで組んだ「ポチ」を設置し、その上に載せたボックスカルバート（もしくは三面水路、L型も可能）を電動チルホール（重量によっては人力）にて横引く工法です。
- 特殊な機械を必要とせず、簡単に施工が行えるため、工費の低コスト化を実現しました。

スーパーポチの特徴

- ▼ クレーンが近づけない現場で施工可能
- ▼ 現場が曲線でも施工可能
- ▼ 長距離の搬送可能
- ▼ 施工に特殊機械が不要

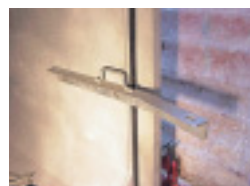
ポチセットの概要



チルローラー台車



爪ジャッキ

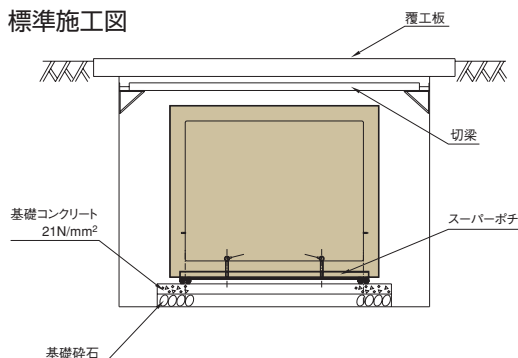


ガイド治具

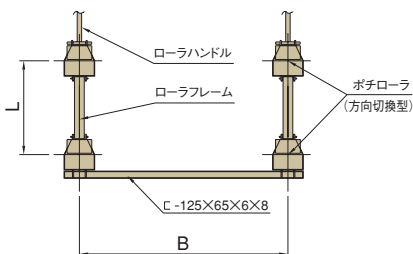


電動チルホール

標準施工図



平面図



BおよびLは運搬する製品に対応して可変

施工フロー



1. 基礎状況



2. ポチセット



3. 電動チルホールセット



4. 転倒防止装置、ガイド治具セット



5. 横引き状況-1



6. 横引き状況-2



7. ジャッキ操作状況



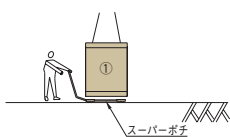
8. モルタル充填状況-1



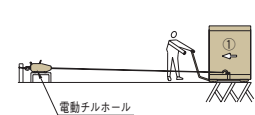
9. モルタル充填状況-2

施工フロー図

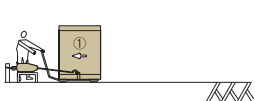
1) 製品吊り降ろし



2) 運搬器材接続
製品運搬



3) 製品運搬
ローラハンドル撤去



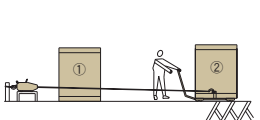
4) ジャッキアップ
スーパーポチ撤去



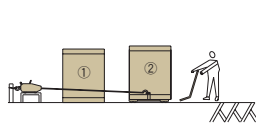
5) ジャッキダウン
製品据付け



6) 製品運搬



7) ローラハンドル撤去



8) ジャッキアップ
スーパーポチ撤去



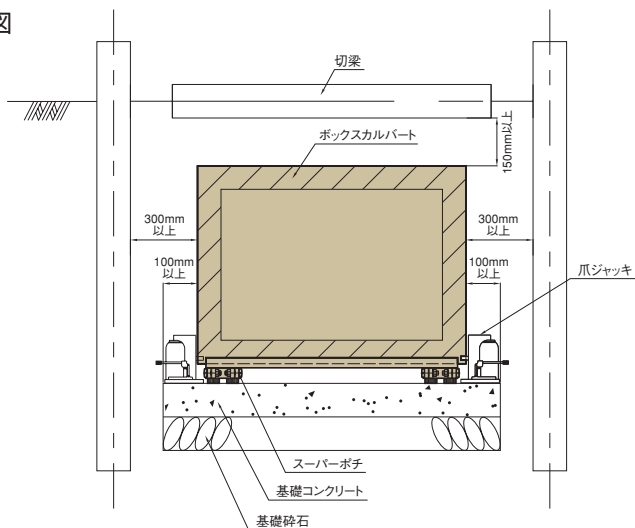
9) ジャッキダウン
製品据付け



適用範囲・施工条件

- 最大搬送荷重 30ton
- 搬送速度 10m/min
- 動力 電動チルホール 1.6t、3.2t

施工条件図



■ 歩掛り

据付工

(施工延長1m当たり)

名 称	単 位	数 量
土 木 世 話 役	人	1/D/E
特 殊 作 業 員	人	3/D/E
普 通 作 業 員	人	3/D/E
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	日	1/D/E
電 動 チ ル ホ ー ル	日	1/D/E
ス ー パ ー ポ チ	日	1/D/E
諸 雑 費	%	5.0

(注) D:1日当たりのカルバート据付量 E:カルバート1個当たりの延長

1. 上記の歩掛には掘削、埋め戻し等の土工及び基礎コンクリートは含んでいません。なお、敷モルタルは別途必要量計上願います。
2. 据付日数は製品の全体数量を1日当たりの据付数量で割って算出します。なお、据付日数は端数切り上げとします。
3. トラッククレーン及び電動チルホールはリースを標準とします。なお、回送費は別途計上願います。
4. スーパポチは損料を計上します。
5. 諸雑費はレバブロック等の損料で、労務費、トラッククレーン、電動チルホールのリース料及びスーパポチ(含む爪ジャッキ)の損料の合計額に上表の率を乗じた金額を計上します。
6. 横引きの動力は、電動チルホールを標準としますが、現場条件によりフォークリフトも可能です。

1日当たりの据付数量(D)

(単位:個)

製 品 質 量	搬 送 区 間 (m)			
	0~50	50~100	100~150	150~200
～ 4 t 未 満	18(10)	16 (9)	15 (9)	13 (8)
4 t ～ 8 t 未 満	15 (9)	14 (8)	13 (7)	11 (7)
8 t ～ 12 t 未 満	13 (7)	12 (7)	11 (6)	10 (6)
12 t ～ 16 t 未 満	12 (6)	10 (5)	9 (5)	9 (5)
16 t ～ 20 t 未 満	10 (5)	9 (5)	8 (4)	7 (4)

1. 上記の据付数量は搬送区間がほぼ直線の場合を想定しています。
2. 搬送区間と製品の施工区間が同一でない場合は別途見積となります。
3. ()は施工延長方向PC鋼材による縦締めがある場合の歩掛かりになります。
4. 2分割上下締めがある場合は別途見積になります。
5. 施工延長が200mを超える場合は別途見積いたします。

※充填モルタル工は含みません。